



移住・定住促進環境整備プロジェクト

R7.9.18



三朝町では少子高齢化と人口減少に伴い、担い手不足や空き家の増加が深刻な課題となっています。このままでは地域の魅力が失われ、持続可能なまちづくりが難しくなることが懸念されます。地域の実態を正確に把握し、特性を理解したうえで戦略的に課題解決に取り組むことが不可欠であり、その中心的役割を担う地域プロジェクトマネージャーの存在が重要です。



本プロジェクトは、空き家の利活用と移住・定住促進を通じて、三朝町の活性化と持続可能な成長を目指す取り組みです。地域プロジェクトマネージャーが関係者と連携しながら戦略を策定し、空き家活用や移住者受け入れ、地域の魅力向上などを通じて、移住・定住を支える環境を整備します。



プロジェクトの目的

地域の課題解決

空き家問題と移住定住促進に関するビジョンを策定し、実行可能で効果的な解決策を打ち出します。

協力体制の構築

地域に根ざした活動を通じて、関係者との協力体制を構築し、共に進むべき方向を定めます。

持続可能な地域活性化

三朝町の未来に向けた戦略を着実に実行に移すための準備を整え、持続可能なまちづくりを目指します。



プロジェクトのスケジュール

令和 7 年度

準備期間

地域課題解決に向けた基盤作りを行い、空き家の現状分析と可視化を進めます。また、移住者のニーズ調査を実施し、課題を明確にし、現行業務の調整を協働で進めます。

令和 8 年度

戦略立案・実装準備

空き家活用戦略を本格化、定住支援施策を強化します。外部との連携を強化し、現行業務のフィードバックや改善を行います。

令和 9 年度

評価と調整

進行状況の確認と調整を行い、自走化に向けた戦略を立て、現行業務はソフトランディングを目指しスムーズに移行させます。

令和 1 0 年度

定着・安定

これまでのアクションプランを評価し、持続可能性を高めるための改訂版を策定。成果を地域内で共有し、学びを循環させる。



地域プロジェクトマネージャーの役割

未来ビジョン策定

三朝町の未来像を描き、
向性を定めることが最重要ミッション。

アクションプラン立案

具体的な施策と実行計画を策定します。

関係者調整

関係者、外部協力者との連携を促進します。

プロジェクト推進

計画の実行と進捗管理を行います。

評価と改善

成果を評価し、継続的な改善を図ります。



プロジェクトマネージャーの報償費

432.34万円

年額報償費

地域プロジェクトマネージャー1名の報償費等を対象に、年間650万円が特別交付税の上限。

121.54万円

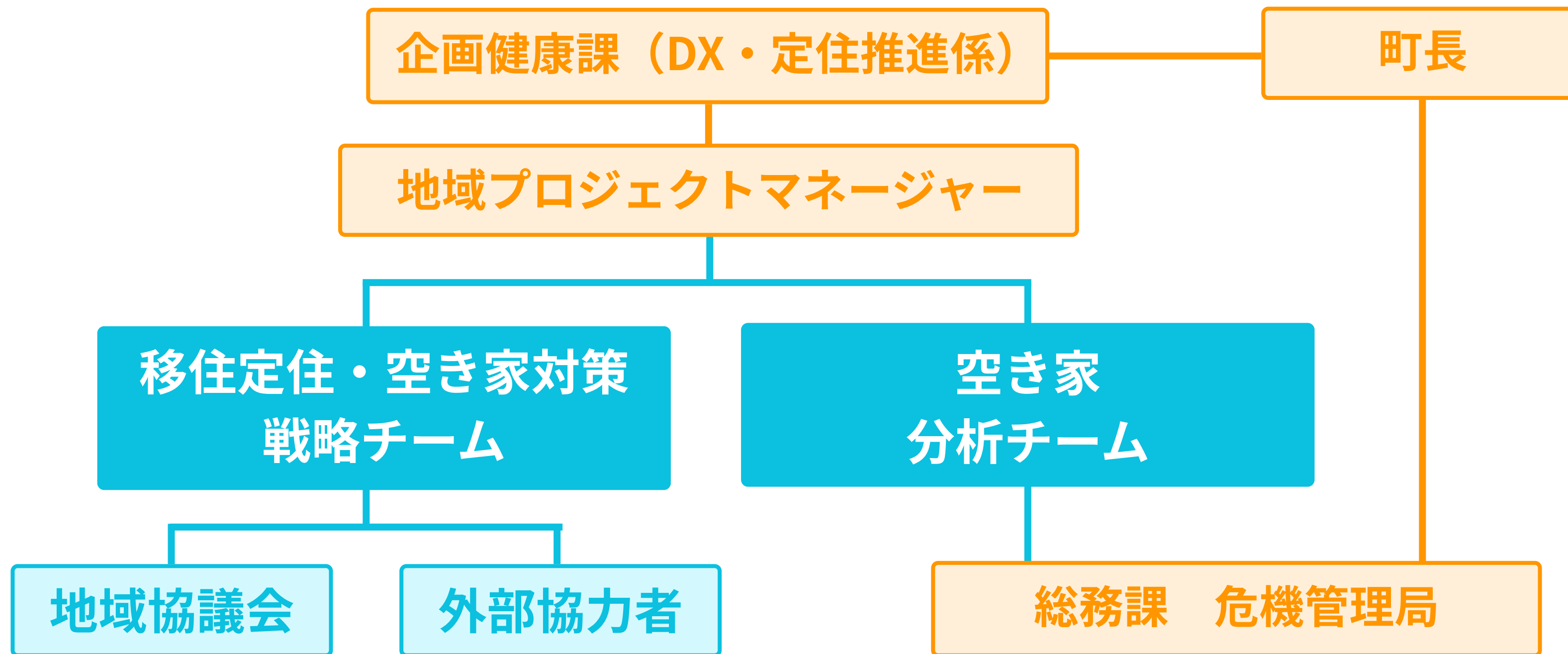
期末手当

25.9万円

月額

推進体制図

地域プロジェクトマネージャーを中心に、行政、地域住民、外部協力者が連携して進めていきます。





プロジェクトの数値目標

空き家登録件数

15件 UP!

空き家バンクへの登録件数をR6年度から3年で年間15件以上増加させます。

移住相談件数

200% UP!

年間移住相談件数をR6年度から3年で200%に増加させることを目指します。

イベント参加者数

150% UP!

住民参加型イベントの参加者数を、R6年度から3年で150%に拡大します。



得られる成果物

未来ビジョン

数年先の三朝町の未来像を描いたビジョン書を作成します。地域の可能性と目指すべき方向性を明確に示します。

アクションプラン

具体的な施策、達成すべき目標、評価指標を含む実行計画を策定します。実践的で測定可能な計画を立てます。

フィードバック

住民や関係者からの意見を反映した最終的なビジョンと施策案をまとめ、地域の声を反映した計画とします。



プロジェクト実施によって 期待される効果

地域プロジェクトマネージャーを採用することで、三朝町の未来に向けた方向性が明確となり、住民や関係者が共有できるビジョンが生まれるとともに、空き家活用や移住・定住促進に関する具体的な戦略や施策が整備され、地域資源を最大限に活かした持続可能な発展に向けて着実な一歩を踏み出すことが期待される。

